

ニユー・ス・済生

THE NEWS SAISEI



発行所 社会福祉法人済生会
東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F 〒108-0073
電話 03-3454-3311 T108-0073
FAX 03-3454-5576
編集兼発行人 炭谷 茂

https://www.saiseikai.or.jp/

高松宮記念基金にご協力ください

令和4年1月～4月分実績	
◎本会会員加入状況	38,327人 81.6%
	43,069口 8,616万円
◎外部会員加入状況	
◎一時寄付状況	8件 23万円
	(内、自販機関係 5万円)
◎募金箱	23万円

「健康に留意して仕事を」

3病院報告 総裁・秋篠宮皇嗣殿下



済生会は5月9日、総裁・秋篠宮皇嗣殿下に新型コロナウイルス感染症に対する本会の最新対応と今後の課題を報告した。宮家と本部事務局、(東京)中央病院、(神奈川)横浜市東部病院、(大阪)中津病院の5カ所をオンラインで結んだ。

炭谷理事長は、5月6日時点の入院患者は259人で減少しているものの大型連休後に増加する恐れがあると説明した。国の要請にこたえ、東京や大阪の医療・宿泊療養施設、(沖繩)浦添総合病院に看護師を派遣したことも報告。特に沖繩県への派遣については「済生会は沖繩に支部がないため現地の情報が入っていない。済生会の拠点を復活させることがぜひとも必要」と訴えた。

3病院からは院長・看護部長が出席。第6波の分析と対策、流行後の各院の課題を説明した。

中央病院・海老原全院長は、4月からはコロナ以外の診療や救急患者の受け入れを充実させる必要から、ICU等の病床を通常運用に戻した。新興感染症に備え有事には一病棟を感染症専用病棟に変更できる改築を計画していると報告した。

春の叙勲

4月29日 本会関係者

- 旭日中綾章 元埼玉県済生会副会長 神保 国男氏
- 元静岡県済生会副会長・理事・評議員 原田 英之氏
- 元静岡県済生会理事・評議員 天野 進吾氏
- 旭日小綾章 元栃木県済生会理事 太田 照男氏
- 元滋賀県済生会理事 平柿 完治氏
- 元愛媛県済生会理事 森 憲宣氏
- 旭日双光章 元埼玉県済生会理事 湯澤 俊氏
- 元石川県済生会副会長 北川 龍郎氏
- 元滋賀県済生会業務担当理事 井上 正氏
- 瑞宝双光章 元前橋病院看護部長 鈴木 伸代氏
- 元石川県済生会副会長 北川 龍郎氏
- 元滋賀県済生会業務担当理事 井上 正氏
- 瑞宝単光章 愛知県三河青い鳥医療療育センター看護部長 水野 芳子氏



への訪問看護を実施してきたことから、在宅患者への支援対策の重要性を訴えた。

秋篠宮皇嗣殿下は「今後も流行は続き、病院・福祉施設ではクラスターの発生など心配することが多々あると思いますが、健康に留意して仕事されることを願っています」と職員にねぎらいのおこづかいを賜った。(広報室)

外国人介護人材で質疑

令和4年度社会福祉施設長会議が4月14日日本で開催され、106人が出席した。炭谷理事長の基本説明、松原理事の重要事項説明に続き、看護部長会議と同様の本部業務説明があった。

介護職の外国人材に関して質疑応答が行なわれ

「済生記者に期待している」

炭谷理事長が強調 済生記者研修

済生記者に求められる知識と技術の習得、広報マインドの醸成等を図ることを目的とした済生記者研修会が5月10日に済生会本部からオンラインで配信され、120人が参加した。この研修は平成24年度から本部が開催。28年度からは済生会の横断的研究組織「済生会広報実務研究会」と共催している」と述べ、「済生記者は経営の大きな力を担っている。日頃から問題意識を持ってニューズを発掘、伝達してほしい」と訴えた。

本部広報室からは「済生記者の役割」と題し、広報の目的を解説。特に職員への理念や経営方針の浸透を目的とした「内部広報」について、済生会の歴史を踏まえて講義した。参加者の半数が新任の記者であることから、機関誌「済生」に掲載された過去の記事を参考に、

席した。

始めに、炭谷理事長から挨拶及び基本説明があり、その後、松原理事がコンプライアンスの強化や情報セキュリティの強化など重要事項を説明した。

続いて本部業務説明が担当課長から行なわれた。

①令和4年度予算②支部未設置県解消等済生会の基本的あり方に関する検討会の検討概要③DXに対する取り組みと情報セキュリティ対策④新型コロナウイルス感染症に関する本会の対応⑤寄付金獲得策の強化⑥病院経営状況(令和3年4月～令和4年2月)

最後に、済生会総研の活動報告があった。

(総務部 総務課)

新任15人迎え開催

看護部長・副学校長研修が4月21日、本部で開催され、看護部長82人(うち新任13)、副学校長6人(うち新任副学校長2)の88人がオンラインで参加した。

厚労省の習田由美子医政局看護課長が「看護の動向」と題して講義。「今後の新型コロナウイルス感染症拡大に備え、看護職員は

記事の書き方や参考資料を説明した。

記事の書き方や参考資料を説明した。済生会からは、広報誌やホームページに掲載する施設の情報や、どのようにして発信しているのかの説明。東京、中央病院、京都府病院、岡山県済生会、(福岡)飯塚嘉穂病院が、事例を交えて広報活動を紹介した。(広報室)

大に備えた看護職員確保「看護師の特定行為に係る研修制度の概要・現状と推進」「医師の働き方改革を進めるためのタスクシフト/シフト推進の具体的な普及・推進策」「医療専門職支援人材(看護補助者・医師事務作業補助者)の活用を目的とした事業」を解説した。

全国済生会看護部長会と本部看護室が協働している三つのワーキンググループの活動を報告。

水戸済生会総合病院の榎山千景看護部長が「特定行為研修など看護の動向に関するワーキング活動報告」、香川県済生会病院の松本久美恵看護部長が「タスクシフト、タスクシェアワーキンググループ活動報告」、唐津病院岩崎理佳看護部長が「看護補助者マニュアル改訂」ともなうワーキング報告」を説明した。

午後は高輪心理臨床研究所主宰・岸良範氏が「メンタルヘルスとパワーハラスメント」豊かに話した。これは「人間関係を豊かにするために、個々の事情の中で生きてきた人へのリスベクトから始

管理栄養士の底力知って済生会の力16集刊行

済生会のカシリス第16集「管理栄養士の底力知って」が3月に発行された。

本誌は全国済生会管理栄養士・管理栄養士の協力を得て制作。給食管理だけでなく、NST(栄養サポートチーム)や栄養指導、ICUでの栄養管理など活躍の場が大きく広がる管理栄養士にスポットを当てた。

特集では先駆的な取り組みを行なう8病院を紹介するほか、仕事場一日密着、健康に詳しく食

寄贈

- 福島県済生会 井上 仁殿 100万円 (福島総合病院へ)
- 東京都済生会 佐藤 格殿 100万円 (中央病院へ)
- 石川県済生会 馬場 貢殿 100万円 (金沢病院へ)
- 三重県済生会 柏木秀雄殿 100万円 (明和病院へ)
- 大阪府済生会 河内幸枝殿 100万円 (吹田病院へ)
- 和歌山済生会 上田敏寛殿 50万円 (ライフケア有田へ)
- 熊本県済生会 勝本映美殿 15万円 (なでしこ園へ)

滋賀県病院名譽院長 杉本徹氏が逝去

滋賀県病院名譽院長の杉本徹氏が4月17日、逝去された。77歳だった。葬儀は京都市のかもがわホールで家族葬にてしめやかに執り行なわれた。

杉本氏は昭和45年に京都府立医科大学を卒業。宮崎医科大学と京都府立医科大学で教授を務めた。平成19年滋賀県病院院長に就任、27年まで務めた後、同名譽院長、滋賀県済生会看護専門学校校長に就任した。令和2年には支部長を務めた。

平成20年に神経芽腫の研究が評価され文部科学大臣表彰を受賞された。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



記事の書き方や参考資料を説明した。済生会からは、広報誌やホームページに掲載する施設の情報や、どのようにして発信しているのかの説明。東京、中央病院、京都府病院、岡山県済生会、(福岡)飯塚嘉穂病院が、事例を交えて広報活動を紹介した。(広報室)

新任施設長の抱負



（岩手）特別養護老人ホーム百楽苑
昭和37年生まれ。岩手県岩手町出身。63年岩手大学卒、岩手町役場入職。政策推進課長、税務出納課長を経て、令和4年4月に百楽苑苑長に就任。「当町の高齢化率は45%に達し、一人暮らしの高齢者や老々世帯が増える中、当施設は町内唯一の特別養護老人ホームとして不可欠な施設となつています。当死の理念「福祉の原点に立ち、入所者の生活全般について適切なサービスを提案することともに、地域福祉の向上に努める」のもと、利用者さんとご家族に満足いただける生活環境を確保することにも、新型コロナウイルス対策や自然災害への対応にも職員一丸となって取り組んでまいります」



（榎木）軽費老人ホームケアハウス公孫樹
昭和37年生まれ。栃木県出身。59年宇都宮大学卒。61年栃木県入庁。平成29年高齢対策課長を経て、令和4年4月に施設長に就任。「当施設は、同一敷地内に特別養護老人ホーム、認知症グループホーム、デイサービスセンター等を併設。施設間の連携を図り、入居者の皆様に安心して穏やかな生活を送っていただけるよう支援してまいります。宇都宮北西部の高齢者福祉拠点として、地域の皆様の期待に応えられるよう、取り組んでまいります」



（東京）中央病院附属乳児院
昭和38年生まれ。神奈川県出身。61年立正大学経済学部卒、中央病院入職。経理課長、企画課長、事務次長を経て令和4年4月乳児院長に就任。「当院は関東大震災で被災した妊産婦や乳児の救護のため大正13年1月に開設された「赤羽橋乳児院」が始まりで、令和6年に創立100周年を迎えます。令和2年9月に建て替え、令和3年度からシヨートステイを実施。東京・港区と品川区の子育て支援の一端を担っています。子どもたちが元気に健やかに過ごせるよう、スタッフがいっしょに力をもち、子どもの最善の利益が守られるよう努めてまいります」



（静岡）障害者支援施設静岡市桜の園
昭和41年生まれ。神奈川県出身。静岡大学卒。平成8年静岡市桜の園入職。ワーク春日、小鹿苑、小鹿などで施設を経て、令和4年4月施設長に就任。「当施設は平成6年に開設し、施設入所、在宅サービスを展開してきました。基本理念「あなたらしさを応援します」のもと、障害者の権利や選択権を尊重し、質の高いサービスを提供してまいります」



（大阪）吹田特別養護老人ホーム松風園
昭和37年生まれ。京都府出身。平成元年京都府立医科大学卒業、同大学整形外科教室入局。14年吹田病院入職。22年整形外科科長。31年吹田療育園園長、令和4年4月松風園施設長を兼務。「当施設は、平成9年に吹田病院に隣接して開設。特養を中心に短期入所、通所介護等のサービス6事業を行なっています。「利用者様の皆様にやさしく安心のサービスを提供し、地域福祉の中心的存在として貢献すること」を常に心掛け、地域のニーズに応え、地域の皆様から愛され信頼される、地域に密着した施設を目指します」



（岡山）新見市養護老人ホーム和みの郷かなや
昭和42年生まれ。岡山県出身。平成3年岡山大学経済学部卒、岡山済生会総合病院入職。28年介護老人保健施設「あまの郷」事務局長心得。令和3年新見市養護老人ホーム「和みの郷」事務局長心得。4年4月施設長に就任。「当施設は、平成26年から支所岡山済生会が新見市の指定管理者となり事業を運営しています。当施設の基本方針である「利用者本位・笑顔で接し、利用者と共に生きる」を常に心掛け、「元気づけ」をモットーに、新見市並びに他施設との連携を行ない、地域に貢献する施設として努めてまいります」



（岡山）軽費老人ホームケアハウスやよいの里・有料老人ホームなごみ苑
昭和27年生まれ。岡山県出身。53年自治医科大学医学部卒業。岡山県内の地域医療に従事した後、昭和62年岡山大学第一内科入局。平成元年岡山済生会総合病院内科医長、令和2年院長。令和4年4月岡山済生会看護専門学校を兼任。「山本和秀前校長の後を引き継ぎ、校長を拝命しました。看護師に求められる知識や技術が多様化、高度化する中、3年間という短期間で充実した教育ができるよう努めます。済生会人としての人間力やコミュニケーション力の教育にも取り組んでまいります」



昭和48年生まれ。福島県出身。医療法人や介護企業で医療や福祉に携わり、平成20年伊達すりかみに入職、居宅介護支援事業所の管理者を経て令和4年4月園長に就任。「当社は昭和55年に開設。特別養護老人ホームの他にデイサービス、シヨートステイ、居宅介護支援事業所を併設し、地域福祉の一翼を担ってきました。日々変化を遂げる地域の状況を踏まえ、利用者さん



昭和34年生まれ。埼玉県出身。58年東京経済大学経営学部卒、中央病院入職。平成20年事務次長、23年向島病院事務部長、令和2年4月中央病院附属乳児院長を経て、4年4月港南の郷所長に就任。「当施設は、平成8年に開設。特養港南の郷を中心とした7事業を、平成18年には、南麻布高齢者



昭和46年生まれ。静岡県出身。平成4年名古屋福祉専門学校卒、静岡県済生会入職。特養小鹿苑、小鹿などで施設を経て、令和4年4月施設長に就任。「当施設は看護・介護・リハビリテーション、その他必要な医療ケアを行ない、在宅復帰するための心身の自立を支援しています。地域に根ざした信頼される施設として、職員が楽しく業務が遂行できる環境の整備も含め、微力ではありますが努力してまいります」



（滋賀）介護老人保健施設ケアポート栗東
昭和15年生まれ。京都府出身。42年京都府立医科大学卒、同大学附属病院を経て、44年滋賀県病院入職、56年診療部長、平成6年副院長、10年特養淡海荘荘長を経て、令和4年4月施設長に就任。



昭和35年生まれ。兵庫県出身。58年中津看護専門学校卒、中津病院入職。平成26年看護部長、令和3年院長補佐。令和4年4月大阪乳児院長に就任。「当施設は昭和24年に戦



後の戦災孤児の緊急保護施設として開設以来、中津病院に隣接して事業を行なってきました。来年は大阪市北区大淀エリアにセンター複合施設として移転します。施設の規模化が進められる中、定員60人の当施設は母子へのさまざまな支援を行なっています。コロナ禍で育児を取り巻く環境は厳しくなっていますが、今後も安心安全な子どもへの支援ができるよう取り組んでまいります」

水戸済生会総合病院様でご利用中 人事・総務部門の方

年末調整Web申告

スマホやパソコンから簡単操作
人事給与システムはそのまま、お手軽に導入いただけます。

キャンペーン実施中!
初期費用 0円
2022年8月末までのご契約完了分が対象

さくら情報システム
Daigas Group SMBC

株式会社白橋の法人向け
名刺WEB発注サービス

名刺'S

メイシーズ

あなただけのために、
あなただけの文字で。
筆文字名刺
Fudemoji Meishi

株式会社白橋
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-4-1
https://www.shirahashi.co.jp/
【月～金 9:00～17:00】

名刺の白橋 検索
03-3551-1181 Fax 03-3555-0981